

平成31年新年名刺交換会

平成31年の新年名刺交換会が、平成31年1月16日（水）午後5時30分から生田神社会館において井戸兵庫県知事をはじめ兵庫県・神戸市等関係行政機関の幹部、関係団体代表等、多くのご来賓をお迎えし、171名の出席のもと盛大に開催されました。

開会に先立ち、先ず生田神社の巫女によるお神楽・豊栄の舞を奉納して参会者の繁栄を祈念し、小山会長挨拶、井戸知事及び松本顧問（兵庫県議会議長）挨拶、来賓紹介、新入会員紹介、賛助会員紹介と次第を進め、昨年7月に国土交通大臣表彰を受賞された小坂副会長に小山会長からお祝い金が贈呈されたのち、高田前顧問の後任として新たに顧問にご就任いただいた、安福兵庫県議会議員の乾杯の発声により和やかな雰囲気の中で歓談に入り、出席者の交流を行いました。



豊栄の舞



小山会長挨拶

【小山会長挨拶（要旨）】

会員の皆様、賛助会員の皆様には昨年1年間、当協会の事業並びに諸活動にご協力、ご理解をいただきお礼を申し上げます。また、兵庫県様をはじめ関係行政機関の皆様におかれましても、数多くの設備工事の入札発注をしていただきお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、6月に私ども協会の顧問をお願いしております兵庫県議会議員の松本隆弘様が第121代の兵庫県議会議長に選任、就任されました。まことにおめでとうございます。また続く7月には、協会の二人目の顧問として、兵庫県議会議員の安福英則様にご就任いただきました。まさに当協会にとりまして、県政150周年を祝うにふさわしい年になったと思います。

ところで、昨年は、連日35度を超える夏場の猛暑、そして局地的な豪雨による河川の氾濫、さらには度重なる大型台風の上陸に伴い、各地で風水害の被害が発生しました。さらには大阪北部地震、北海道での大きな地震と本当に災害の多い一年でありました。自然災害の怖さを改めて思い知らされたとともに、災害に対する事前対応がいかに必要であるかを認識しました。

また、我々の業界に目を向けますと、担い手確保問題、労働力確保は、どの産業でも問題となってきました。この4月からは働き方改革法案が施行されます。我々建設業の時間外労働の条件整備につきましては5年後の適用となっておりますが、4月からは5日間の年次有給休暇の取得が義務付けられます。このように就業面での改善や工夫をしなければ、労働力が確保できないばかりではなく、業界の繁栄も望めない社会構造となりつつあります。昨年12月に国会で外国人労働者の受け入れに関する様々な議論、検討がなされておりました。ただ、受け入れに関する建設業種のなかには、我々電工が含まれておりません。これは専門用語を含む言葉の問題、さらには電気工事士等国家資格の問題などから先送りされたと聞いております。そのため、我々業界の上部団体であります日本電設工業協会は、まず一定の専門性を持った電工を組み入れてもらうため、国土交通省さらには経済産業省に働きかけをしていると聞いております。このように今後とも働き方改革、外国人労働者の受け入れに関しましては、引き続き様々な議論や検討がなされていくと思います。会員企業におかれましても、引き続きこれらの問題を理解していただくとともに、特に働き方改革は

しかるべき対応を速やかに実施していただくようお願いします。

明日は1月17日、阪神淡路大震災を追悼する1・17ひょうごメモリアルウォークの日となっております。イベントに協賛しており、青年部会の多くの者がボランティアとして活動に参加予定でございます。また、賛助会員でありますメーカー様と一緒に交流広場の一角にテントを設け、防災商品や非常食の展示、さらには地震体験車両を設置して広く市民の方々に電気と防災をアピールする計画でございます。加えて、今年は微弱電流を手で触れていただけるコーナーも設ける予定です。ぜひお立ち寄りいただきたいと思っております。紹介をさせていただきました。

最後になりますが、兵庫県150年の歴史を振り返り、旧五国の魅力を見直し、そして夢ある未来の兵庫づくりの一翼を担う業界となることをお約束して、新年のごあいさつとさせていただきます。本日までのご出席、誠にありがとうございました。



井戸知事挨拶



松本顧問挨拶

井戸知事挨拶要旨

今日は皇居で「歌会始の儀」が行われました。陛下は、阪神淡路大震災から10年の追悼式典で種を譲り受けられた「はるかかのひまわり」の成長を歌にされました。陛下の被災地・被災者に対する思いに感激したところです。

先日、皇居内で静岡県知事と話をしたのですが、静岡県では災害で1週間から10日ぐらい停電が続いたそうです。道路が通行不能になって電線を繋いでいくメンバーが入っていかず、道路の復旧が進まないと電線も直せなかったと言われておりました。去年は多くの地域で災害がありましたので、電業協会の皆様方に災害復旧でご協力いただいたものと感謝申し上げます。

今年は災害がないことを祈っているのですが、明日は、24回目の阪神淡路大震災の日を迎えます。阪神淡路大震災の経験や教訓がだんだん忘れ去られているのではないかと。去年の災害でも判明したのですが、いかに過去の災害に学んでいないかということです。水害もそうですが、大阪北部地震、北海道胆振地震でも、対応がまったくされていないと言ってもいいくらいです。それは、阪神淡路の時に我々自身が経験したことばかりであり、もう一度、私たちの経験や教訓を風化させることなく、全国に発信していくのが被災地の務めなのではないかと思っています。

来年の1月17日は25年を迎えることとなりますので、24年、25年を風化させない。これを知らない人には伝える。そして経験、教訓を生かして大地震に備える。あらためて対応していくことが必要であると考えています。

最後になりましたが、兵庫県電業協会のますますのご発展と協会会員のご発展、本日までご参会の皆様方の健勝でのご活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



小坂副会長 お礼の挨拶



賛助会員の紹介



安福顧問 乾杯のご発声



知事を囲んで



交流・懇談



前田副会長 閉会の挨拶

主な行政関係出席者(敬称略)

井戸敏三 (兵庫県知事)、荒木一聡 (兵庫県副知事)、松本隆弘 (兵庫県議会議長・協会顧問)、安福英則 (兵庫県議会議員・協会顧問)、奥原 崇 (県まちづくり部長)、廣田俊彦 (県県土企画局長)、出野上 聡 (県住宅建築局長)、春名克彦 (県環境管理局长)、角本雅宣 (県企業庁次長)、高木泰幸 (神戸市住宅都市局設備担当部長)、小南正雄 (県住宅供給公社理事長)、尾原 勉 (県道路公社理事長)